

「岸和田市公共交通検討委員会」ニュース

<NO.5> 発行 H23.11

★ 第5回検討委員会開催 ★

岸和田市では、昨年度（平成22年度）より、市内全域の公共交通サービスのあり方について考える「岸和田市公共交通検討委員会」を組織して、継続的な検討をおこなっています。

今年度においては、市内公共交通空白地区の解消を目的としたローズバスの試験運行実施に向けた検討・協議を継続的に実施しています。

平成23年11月1日には、第5回検討委員会が開催され、ローズバスの試験運行ルート案、ルート沿線にお住まいの方への利用意向などの調査項目、および、試験運行実施後におこなう事業評価の項目・基準などについて議論されました。

今後は、山直北・城東地区を中心にルート沿線にお住まいの方へのアンケート調査を実施すると共に、試験運行の実施にむけて関係機関との調整を進めていく予定となっています。

次回、第6回検討委員会では、「試験運行ルート沿線におけるアンケート調査結果および事業評価基準、岸和田市全体の公共交通に関する施策検討など」について議論する予定です。

日時：平成23年11月1日（火）14:00～16:00

場所：岸和田市立福祉総合センター 2階会議室



委員会開催風景

委員出席状況

構成委員総数 9名 出席委員数 8名

協議のポイント

○ローズバス試験運行ルート検討

- ・試験運行の主目的確認
- ・ルート案別の沿線人口
- ・ルート案別のメリット・デメリット 等

○ルート沿線へのアンケート調査内容

- ・アンケート調査実施の目的
- ・アンケート調査対象者
- ・アンケート調査実施の手法
- ・利用意向、ニーズ把握のための設問内容 等

○事業評価項目・基準

- ・評価項目および評価基準値（案）
- ・評価のための調査対象者 等

岸和田市公共交通検討委員会ニュース 2011年11月発行

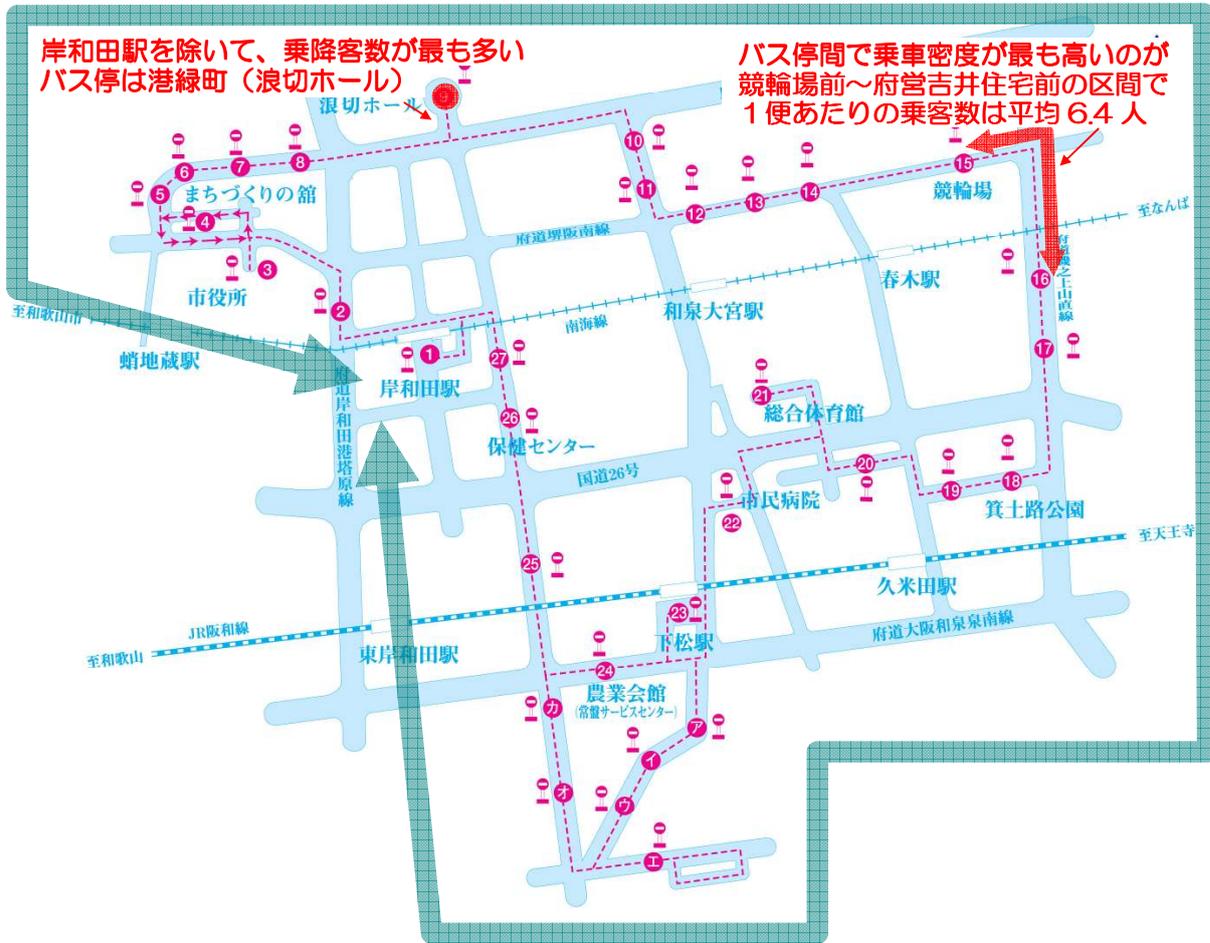
【編集・発行】岸和田市 まちづくり推進部 都市計画課

TEL 072-423-2121（代表） FAX 072-423-3347

「データのページ」 ローズバスの利用状況について紹介します

ローズバスの1便あたりの利用者数（岸和田駅を発車して1周する間の乗客の総数）は平均で約17.2人/便（平成22年度実績値）となっています。

1便あたりの利用者数（1周する間の乗客の総数）は平均17.2人



ローズバスの収支率（運行経費に対する運賃収入の割合）は約22%と低く、残りの約78%については、市からの補助金でまかなわれています。

仮に1便あたりの利用者が平均で4人増えると、収支率は約5%上昇する計算となりますので、市の負担軽減のためにも、ローズバスの積極的なご利用をお願いします。

年間運行経費：25,166,000円

年間運行収入：5,557,120円

上記より、収支率は $5,557,120 \div 25,166,000 \times 100 = 22.1\%$

年間利用者総数：60,163人

年間運行便数：3,498便

上記より、利用者1人あたりの運賃収入は $5,557,120 \div 60,163 = 92.4$ 円

1便あたり利用者が4人増えた場合、年間では $4 \times 3,498 = 13,992$ 人増加し、運賃収入は $13,992 \times 92.4 = 1,292,860$ 円増加する計算となります。

これは運行経費の約5.1%に相当し、その割合だけ収支率が改善することになります。

※表内の数値はすべて平成22年度の実績値です